



つばき

所沢市立椿峰小学校

〒359-1146

所沢市小手指南5-20-1

TEL:04-2948-6601

FAX:04-2948-6602

文責：校長 丸山 譲

令和4年2月1日発行 第10号

次に備える

今日からいよいよ2月です。

2月の風物詩と言えば、節分です。その節分の翌日は「立春」です。立春とは、「春」が「立つ」と書きます。初めて春の気配が現れるという意味です。まだまだ寒い日が続きますが、陽射しが少しずつ強くなり春の訪れを感じ始める頃でもあります。

3学期がスタートした途端、変異株であるオミクロン株の急拡大により新型コロナウイルスの感染者数が急増し始めました。先月の21日には埼玉県に「まん延防止等重点措置」が適用され、今月の13日までは、再び強い制限の下で教育活動を実施していくこととなりました。そのような中、子どもたちは、来月の22日に予定されている「6年生を送る会」の準備に取りかかり始めています。新型コロナウイルスの感染拡大が下火になり、子どもたちの準備が報われることを願うばかりです。

先月は、やはり「行く月」でした。‘あっ’という間に2月になった感が強いです。今月も何気なく過ごしていると「逃げる月」と言われるように、知らないうちに3月を迎えしまうこととなります。そこで、今月は「次に備える」を心がけて過ごすことを勧めます。子どもたちもそうですが、親として次に備えるために、我が子の「今」を知ることが、次の学校や学年に向けての準備として大切なことです。この1年間で、子どもは随分と大きくなりました。外見ではすぐ分かりますが、見えにくい心の成長はどうでしょうか。それは、子どものさまざまな行動に現れています。友人関係はどう変化したでしょうか、読書の傾向は、言葉遣いは、趣味やこだわりは、親への態度は等々、子どもの日常の何気ない様子を見ることも次への備えといえます。「うちのは幼いから」と、「分かっているから」といつまでも思っていると、思わぬ変化に突然驚かされることがあるかもしれません。

このように、子どもに「親の気持ちを理解させる」ことも大切です。ですから「ダメなことはダメ」の言葉の意味も、年齢を重ねるごとにわかっていきます。同時に、生きるのです。よく、少年期の子どもには「手は離しても、目を離すな」と言われます。子どもと本気で向き合い、うるさがられても、子どもの行動からは決して目をはなさいでてください。

子どもの4月からの成長を確認し、次に備えるために、進級・進学に向けた目標を達成しようとして努力している子どもの行動を、しっかり見守ってください。

春は確実に近づいてきています。新型コロナウイルス感染防止に気を遣い、健康には十分に気をつけて、1年のまとめである3学期を乗り切りましょう。

